

《令和5年度 建設部 組織目標》

様式2

◆部局の役割・目標像

草津市民や草津を訪れる人々にとって、心地よさをいつも感じられ、住みよいまち、住み続けたいまちをつくるため、都市形成の基盤をなす道路、河川、公園、市営住宅の整備を進めるとともに、インフラ資産の適正な維持管理を図ります。

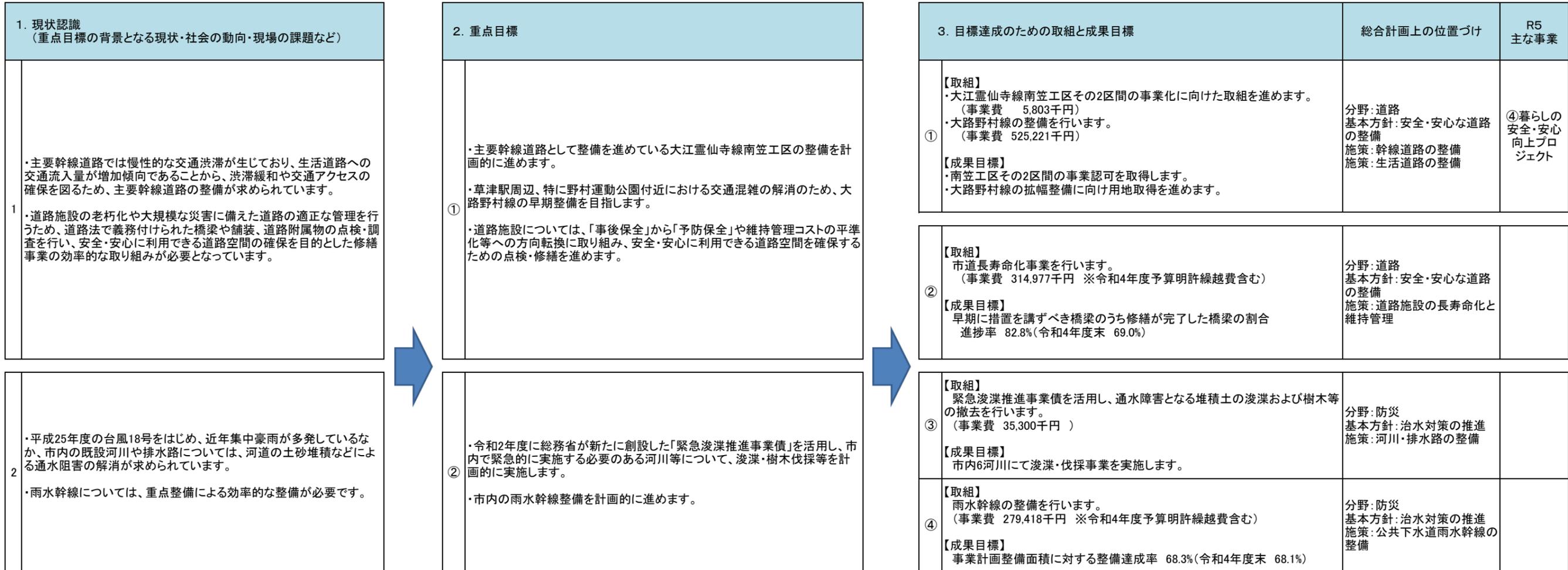
- ◆広域主要幹線道路や生活道路・歩道などの整備を進め、安全・安心に利用できる道路空間の構築を推進します。
 - ・各広域主要幹線道路の早期完成、早期事業化に向け国県等に対し要望していきます。
- ◆道路施設や公園施設の長寿命化と適正な維持管理を行います。
 - ・橋梁、舗装、道路附属物や公園遊具等の予防保全に努め、適切な修繕を行います。
- ◆河川・排水路の適切な整備と管理による治水対策を行います。
 - ・雨水排水路の整備を計画的に進めます。
- ◆ガーデンシティの推進を図り、公園や緑地の整備、活用を行うことによって、安らぎと憩いの場の充実を図ります。
 - ・都市公園の整備を進めるとともに、今後のロクハ公園プールの方針の検討を行います。
 - ・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めるとともに、草津川跡地公園のさらなる“にぎわい”と“うるおい”の創出に努めます。
- ◆(仮称)草津市立プールの整備を進めます。
 - ・「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を基本方針に掲げ、市民、県民のスポーツ振興や健康づくりに資する施設として整備を進めます。
- ◆大規模災害に備え、土地(道路、河川等)に係る正確な財産管理を図ります。
 - ・市街地の地籍調査を実施します。
- ◆市民の住まいの安心と安定を支えます。
 - ・公営住宅の供給を通じて、市民の住まいへの安心を支えます。
 - ・改良住宅の譲渡処分により、地域コミュニティの活性化を支援します。
 - ・老朽化が進む公営住宅の計画的な長寿命化対策等を通じて、超高齢社会への対応を進めます。

◆目標管理者

技監	東岡 正樹
部長	松尾 俊彦
理事	生田 英樹
理事	奥山 敏樹

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	6	0	0	6	-	-	-
道路課	15	0	5	20	1,450,131	819,545	630,586
河川課	8	1	1	10	386,699	290,434	96,265
公園緑地課	11	0	2	13	602,288	180,293	421,995
草津川跡地整備課	6	0	2	8	275,078	153,520	121,558
プール整備事業推進室	4	0	0	4	2,438,712	2,425,220	13,492
土木管理課	5	0	5	10	54,526	30,635	23,891
住宅課	9	0	3	12	635,998	496,820	139,178
合計	64	1	18	83	5,843,432	4,396,467	1,446,965



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民等のニーズを踏まえた公園・緑地の整備が必要です。 開園から30年以上が経過しているロクハ公園プールについて、劣化状況や市民ニーズを踏まえ、安全性や運営・管理について最適な整備運営の検討を行います。 第3次草津市みどりの基本計画に基づき、「ガーデンシティくさつ」を推進する必要があります。 	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 野路公園の整備を進めます。 今後のロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。 ガーデニングの促進や活動団体の支援を進めます。 	<p>⑤</p> <p>【取組】 野路公園の用地取得を進めます。 (事業費 5,506千円)</p> <p>【成果目標】 野路公園用地取得率 90%(令和4年度末 28%)</p> <p>⑥</p> <p>【取組】 検討委員会での議論を踏まえ、今後のロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。 (事業費 13,800千円)</p> <p>【成果目標】 ロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。</p> <p>⑦</p> <p>【取組】 市内におけるガーデニング活動団体の支援を行います。 (事業費 702千円)</p> <p>【成果目標】 ガーデニング活動参加者延べ人数 534人(令和4年度 762人)</p>	<p>分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:公園・緑地の整備</p> <p>分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:公園・緑地の活用</p> <p>分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:まちなみ緑化の推進</p>	<p></p> <p>③にぎわい・再生プロジェクト</p> <p></p>
<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津川跡地公園の良好な環境や空間を維持するとともに、新しい生活様式に対応した魅力的な公園運営を行う必要があります。 草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めていく必要があります。 	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> 区間4について、滋賀県をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 区間6について、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 区間2、5(ai彩ひろば、de愛ひろば)について、民間ノウハウを生かした指定管理者による管理を行うとともに、草津まちづくり株式会社や園内の店舗事業者、市民活動など、多様な主体が関わる公園運営を行い、にぎわいを創出します。 	<p>⑧</p> <p>【取組】 区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部分の道路拡幅整備を滋賀県とともに進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 67,771千円)</p> <p>区間6の先行取得した用地の買戻しを行います。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 33,930千円)</p> <p>区間6の実施設計を栗東市とともに進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 110,000千円 ※令和4年度予算明許繰越費)</p> <p>区間6の工事に着手します。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 30,217千円)</p> <p>草津川跡地公園について指定管理者による管理を行います。 (事業費 104,600千円)</p> <p>【成果目標】 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 42.8%(令和4年度実績 42.7%)</p>	<p>分野:公園・緑地 基本方針:草津川跡地の空間整備 施策:草津川跡地の整備</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>5 平成30年11月に策定した『(仮称)草津市立プール整備基本計画』の基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るため、令和7年に開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、大会後の利活用を見据えて、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。</p>	<p>⑤ 令和6年6月の供用開始(予定)に向け、事業者や滋賀県をはじめとする関係機関等と連携しながら、計画的な事業進捗を図ります。</p>	<p>【取組】 ・引き続き、PFI方式により(仮称)草津市立プールの整備を進めるとともに、運営面についても、事業者や関係団体等とともに、施設の供用開始に向けた準備を進めます。</p> <p>⑨ ・引き続き、周辺道路の改修工事を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 4,176,575千円 ※令和4年度予算明許繰越費含む)</p> <p>【成果目標】 PFI方式により建築工事を進めるとともに、周辺道路の改修工事を進めます。</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:スポーツの充実 施策:スポーツ環境の充実</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>
<p>6 ・改良住宅は、入居者の代替住宅として建設したものであり、地域での安定した暮らしに向けて、国の承認を得て、有償譲渡を進める必要があります。</p> <p>・平成29年度に外部有識者による改良住宅譲渡審議会を設置し、有償譲渡に向けた課題整理を行いました。</p> <p>・令和元年度から譲渡処分を開始しました。今後も継続して譲渡処分を進める必要があります。</p>	<p>⑥ 有償譲渡を希望される入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。</p>	<p>【取組】 譲渡の申込があった30名(31戸)のうち13名(13戸)の譲渡を完了し、残りの17名(18戸)の譲渡に向けた手続きを進めます。 ※同和対策本部会議関連事項 (事業費 123,898千円)</p> <p>⑩ 【成果目標】 譲渡戸数 13名(13戸)(令和4年度実績 7名(7戸))</p>	<p>分野:都市形成 基本方針:都市と住環境の質・魅力向上 施策:良質な住宅資産の形成</p>	
<p>7 ・高齢化の進展により、公営住宅のニーズが高まっています。</p> <p>・本市の公営住宅の多くは、昭和50年代に建設しており、老朽化が進むとともに、バリアフリーの問題など、超高齢社会に備えた適切な更新が必要です。</p> <p>・平成29年度に改訂した「草津市市営住宅長寿命化計画」において、老朽化した公営住宅の長寿命化対策等を位置付けています。</p>	<p>⑦ 常盤団地の長寿命化対策を推進します。</p>	<p>【取組】 常盤団地B棟工事の完成、C棟の工事着手および外構工事に向けた設計を行います。 (事業費 272,406千円)</p> <p>⑪ 【成果目標】 常盤団地の長寿命化された住戸数 24戸(B棟)</p>	<p>分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>